

## 第一章・動き出す福智 ②

# 確創造から

まちの魅力を発信するのに欠かせないのは、やっぱりおいしいご当地メニュー。

福智の風土とストーリー、つながりを大切にした、かけがえのない逸品がスポットを浴びています。

ご当地グルメや絶品スイーツがまちの彩りに「おいしさ」という魅力を添えました。



炭鉱爆発事故の際に各家庭から持ち寄られた食材で作られたすいとんがルーツの福智名物

## 官民一体で創り上げた ご当地グルメ

平成23年、町内の飲食店店主や町職員を中心にさまざまな業種の人たちが集まって「特産品開発委員会」が発足し、ご当地グルメの開発が始まりました。郷土の食材を使ったユニークなメニューが多数提案される中、最も「福智らしく」、また「ここにしかないもの」として選ばれたのが福智名物となる「方城すいとん」でした。

かつて炭鉱の町として栄えた旧方城町。炭鉱長屋では人々が支え合つて暮らしていました。そんな方城町を突然襲ったのが、大正3年12月15日に起きた「方城大非常」です。国内最大の炭鉱爆発事

故で、その犠牲者は670人以上。この事故で親を亡くした子どもたちにふるまわれたのが、「すいとん」だったのです。各家庭で具材を持ち寄った温かいすいとんは、孤児たちの不安な心をどれだけ癒し、生きる力を与えたことでしょう。

炭鉱の歴史や地域の絆を今に伝える方城すいとんは、まさに郷土が誇る味。特産品開発委員会では、伝統的な作り方をベースに素材やレシピを改良し、現代のご当地グルメとして大人から子どもまで親しめる味わいに仕上げています。

## 福智の風土にこだわることから始まった 特産スイーツの商品開発

ご当地グルメとともに、旅の楽しみやお土産品として必須なのが甘いスイーツです。特産品開発委員会で試行錯誤の上開発された「ふくち★リッチジェラート」は、福智産のフルーツや素材を贅沢に使い、濃厚でリッチな味わいにこだわったジェラートです。福智で生産される「博多あまおう」「とよみつひめ」「卵」や「黒豆きなこ」などを使用した定番6種類の他、ふるさと納税でしか味わえない限定商品も用意しました。

販路の開拓にも積極的に取り組み、通信販売をはじめコンビニエンスストアなど、筑豊地域のさまざまな店舗で展開。生産やPR、販促活動のため、一般社団法人福智ブランドファクトリーが設立され、新たな雇用も生まれました。

開発から生産、流通、販売、商品管理まで多様な人々が携わり、大切に育てながらブランド力を高めてきたご当地グルメやスイーツたち。まちに多くの人を呼び寄せる福智の「顔」に成長しています。



福智ブランドの先駆けとなったジェラート。全国に多くのファンを持つまでになった

12月15日に全校に並ぶ  
福智ブランド給食

